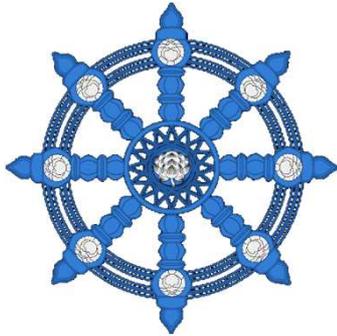


〒464-0007

名古屋市千種区竹越二丁目8番11号

真宗大谷派 香流山 大應寺

TEL(052) 711-3348 携帯電話 090-3458-1420

公式ホームページ <http://www.wa.commufa.jp/daiouzi/>

今年の夏は例年にも増して非常に厳しい暑さに見舞われました。その影響でしょうか集中的な豪雨や突風、竜巻等極端な気象現象が頻繁に起こっています。いつどこで被災するかわかりませんね。だからと言ってビクビクしていても仕方ない事ですが、災害に対する危機感と備えは必要でしょう。

さて、先日お参りの方にご質問を受けました。「災害時にはお仏壇をお守りしなければなりませんか？それともお位牌を持ち出せば良いのでしょうか？」

僧侶としては「どちらも違います。御本尊をお守りして下さい」とお答えするのが正式かと思いますが、あくまでも余裕があればということです。実際に最優先すべきことはご自身（ご家族）の命です。まずは身を守る事を一番にお考え下さい。

お仏壇を担いで逃げるのはとても無理がありますし、お位牌は作り直せば済みます。御本尊も再びお迎えすればお許し下さるでしょう。ただ、ご先祖の法名などを覚えていないと後で復元できません。そのためにも、何かに写し非常持ち出し袋に常備しておくか、複数の過去帳等に写し別の場所（他府県の兄弟や親戚の家）に保管しておくかと安心です。

《当院法要・行事のご案内》

★報恩講★



今年も報恩講を厳修する時節となりました。皆様、お誘い合わせの上、どうぞお集まり下さい。

報恩講とは、宗祖である親鸞聖人様が真宗を開き、尊い教えを今に伝え残して下さいったことへの報恩感謝の法要で、毎年、御聖人の命日前後に厳修されます。（時節柄当院では一ヶ月繰り上げて厳修いたします）

有難い御法縁に感謝しつつ、お念仏の教えをいただきましょう。

尚、当日の用意の都合上、事前に出席の確認をさせていただいております。まことに恐縮ですが、お越しになる際は10月10日までにご連絡をお願い致します。

- 日時 10月25日 午前10時半より(正信偈真四句目下 五淘次第六首)
正午 おとき(食事)
午後 1時半より(伽陀・登高座、正信偈同朋奉讃)

○説教 勅使 英照 師